

営農技術情報


発行 令和8年4月18日
第2号
たいせつ農業協同組合
営農部 農産販売課
本所 営農センター 57-2357
支所 営農センター 87-4111


地温を確保し良好な出芽を目指しましょう。



今年の天候は、曇天や雨の日が多く、最低気温が0℃近くなる日もある為、以下を参考にハウス内の温度低下に注意しましょう。また日照が続くと急激にハウス内の気温が上がるため、高温障害（ヤケ）の原因となります。被覆資材の下の気温はさらに上がっている可能性が高いため育苗ハウスの温度管理を以下の通り徹底しましょう。

適切な育苗管理・ハウス管理で健康な苗作りに努めましょう。

《播種直前・播種直後～1.5葉期までの育苗のポイント》

1) 播種直前：できる限り地温を確保しましょう！ 
播種前日午前中までに灌水し、ビニールで被覆し地温を確保しましょう。

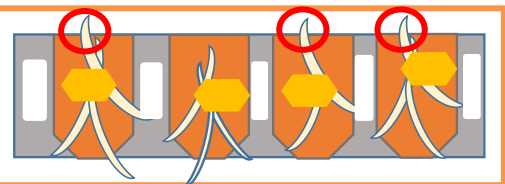
2) 播種後～1.5葉期：種籾付近の温度を10℃以下にしない！ 
シルバーポリのベタ掛けのみの場合は、透明ポリ等で、二重トンネルを設置し、曇天や夜間に併用しましょう。

育苗期間	播種～出芽前	出芽前～1.5葉期
適温	30～32℃	20～25℃
ハウス換気温度	35℃以上	25℃以上
温度測定場所	籾の位置 (地温) 	葉先近く 
灌水のポイント	十分な水分を保ち、覆土を乾かさな ないようにする	早朝に一回十分灌水し、床土の過 湿を避け過剰灌水はしない
二重トンネル	夜間使用（夜温を10℃以上に保つ）	

高温時代の稲作ワンポイント

日中の外気温上昇や日照があると急激にハウス内の温度が上昇し、高温障害(ヤケ)の原因となります。シルバーポリを取るタイミングを見極め健苗育成に努めましょう！

覆土の上に白い芽がポット全体の70%ほど
出てきたらシルバーポリを取りましょう！



今年の育苗巡回・余種子について

4月23日より順次育苗巡回致しますので、ご理解の程よろしくお願い致します。また、余種子がある方は、農産販売課（57-2357）までご連絡ください。

なお、2～3日JAより余種子の引取の連絡がない場合は、処分して頂いて構いません。